

令和3年10月

大野市教育委員会定例会
会議録

日 時：令和3年10月19日（火）午後2時50分～午後3時52分
場 所：多田記念大野有終会館 301号室

大野市教育委員会 10月定例会 次第

令和3年10月19日(火)午後2時50分～
多田記念大野有終会館 301号室

1 開会

会議録署名人 馬道委員 松谷委員

2 9月定例会の会議録の承認について

3 教育長重要事項報告

4 議事

議案第64号 令和3年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価
報告書案について

5 付議事項

1) 大野市小中学校再編計画(案)について

資料1

2) 11月の行事予定について

資料2

・11月定例教育委員会 11月24日(水)午前10時00分～
結とぴあ303号室

6 その他

1) 大野市生涯学習推進計画の策定状況について

資料3

2) 大野市文化財保存活用地域計画策定の進捗状況について

資料4

2) 10月の業務報告について

資料5

3) その他

7 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	委員（教育長職務代理者）	馬道保
	委員	松谷由美
	委員	松田輝治
	委員	羽生たまき
事務局（説明者）	事務局長	真田正幸
	教育総務課長	横田晃弘
	学校教育審議監	千田佐
	こども支援課長	加藤智恵
	生涯学習・文化財保護課長	佐々木伸治
（書記）	教育総務課企画主査	藤本久実子

<傍聴者>

2人

【開会】

【教育長】 ただいまから大野市教育委員会 10月定例会を開会する。

【会議録署名人】

【教育長】 本日の会議録署名人は、馬道委員、松谷委員に願います。

【9月定例会教育委員会会議録の承認について】

【教育長】 事前にお送りした会議録案について、ご意見、ご質問等があれば願います。

——<意見・質問なし>——

【教育長】 9月定例会議事録については事務局からの提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】 事務局の提案どおり承認する。

【教育長重要事項報告】

【教育長】 先般9月30日に、学びの里めいりんにおいて「全国トゲウオ保全シンポジウム」が開催された。その中で、開成中学校の生徒が本願清水の底の清掃に関わり、イトヨの移動にボランティアとして参加した時のことを発表してくれた。これは2年に渡る作業であるが、その発表を私自身は特別な思いをもって見た。学校でイトヨを飼育し始めた約25年前当時、私は開成中学校に在職していた。

学校にいるイトヨは本願清水のイトヨではないが、大野市のイトヨを保全の象徴として、学校の中庭にイトヨ池を作り世話を始めた。作業としては、池に生える藻をとったり、日除けを作ったりと、生徒たちと一緒にイトヨの世話をしたことを思い出す。また、職員も開成イトヨーズというグループを作り、地域の駅伝やイベントに参加し、活動を行っていた。

その時の生徒は、現在40歳前後になっており、当日発表した生徒たちは、25年前に生徒だった子たちの子どもである。イトヨに関わる活動が、世代を超えて連綿とつながっていることに、大変感慨深いものがあった。

話は変わるが、昨年度はコロナ禍で開催できなかった「結の故郷小学生ふるさと芸能発表会」を11月23日に、同じく学びの里めいりん、サスティナ

ブルフォーラムと同時開催する予定である。本年度は、地域における行事の縮小や中止が多く、参加できる小学生グループは限られるが、可能な範囲で開催したいと考えている。

同時に開催されるサステイナブルフォーラムの趣旨のとおり、来年そして未来に向けて大野市の歴史や文化を若い世代と共に「持続」させていけたらと強く願っている。

後ほど、生涯学習推進計画案や文化財保存地域計画案の現段階での内容を報告する。大野市の生涯学習や文化や歴史の継承の視点から、ご意見を頂きたい。

【議事】

【教育長】議案第64号 令和3年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書案について事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】議案第64号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第64号については、提案どおり承認する。

【付議事項】

【教育長】付議事項1) 大野市小中学校再編計画(案)について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<異議なし>——

【教育長】大野市小中学校再編計画(案)については、以上とする。

付議事項2) 10月の行事予定について、ご意見、ご質問等があればお願いします。

【松谷委員】生涯学習・文化財保護課で、11月24日の「右近次郎遺跡出土遺物調査受け入れ」の調査に当たっては、地域への周知はあるのか。

【生涯学習・文化財保護課長】過去に右近次郎遺跡から出土した遺物を調査するもので、現地には出向かず大野市博物館で実施するため、周知は行わない。

【教育長】一つ補足する。教育総務課で、11月26日に広島県教育長が下庄小学校を視察する件であるが、これは広島県教育長が福井県の教育状況を視察する中で幼小連携についての希望があり、大野市において幼小連携への体制が整っていることや、主に夏季休業中などに、下庄小学校各校区の保育園に教員が訪問し積極的に検証を行っていることから、大野市教育委員会より下庄小学校を推薦したものである。特に低学年の状況を視察したいとのことで、私も同行

する予定である。

10月の行事予定については、以上とする。

【その他】

【教育長】大野市生涯学習推進計画の策定状況について、事務局の説明をお願いする。

——<生涯学習・文化財保護課長説明>——

【教育長】現在策定中であり、計画の詳細までは及んでいないが、概略を示させていただいた。現在は「ふるさと教育推進計画」があるが、これは子どもたちを中心とした計画であり、今回は生涯にわたってのものとして整理する形で進めている。ご意見、ご質問等があればお願いします。

【松田委員】最近、生涯学習という視点でとらえることが多いが、社会教育からの視点、団体に対する働きかけや組織づくりという観点は、今回の生涯学習推進計画案には入っていないのか。

【生涯学習・文化財保護課長】生涯学習の中には社会教育の視点も当然含まれている。社会教育や家庭教育、人権、男女共同参画といった視点も含まれている計画である。組織づくりは各団体に対する働きかけや若者の組織づくりという点もこの計画案に含め取り組んでいきたいと考えている。

【松田委員】総合教育会議の中でも、地域との関わりやいろいろなコミュニケーションについて話題となったが、個々の学習という観点が最近クローズアップされている。社会教育の中での難しい点として、青年団体や女性団体といった組織の中に入ることが最近は馴染まないようであるが、やはり何らかの組織があり、社会があって、皆がそれに参画することで、世の中が動き、支え合いができることもある。そのような視点をしっかりと取り入れて、計画案を作成していただきたい。

【生涯学習・文化財保護課長】委員からお話のあった視点については、つながりづくりの「地域での交流を深め、支えを広げます」という基本目標の中で取り組んでいきたい。また、若者については地域を支える人材の育成といったところで取り組むこととし、いただいた視点を計画案に生かしていきたい。

【松田委員】今回の組織改革により、文化や芸術の分野の一部は市長部局へ移動しているが、教育委員会として担う部分もある。いろいろな分野で、楽しむという視点だけでは問題であると感じており、教育の観点を踏まえて考えていくことが大事である。

【事務局長】最近、生涯学習と社会教育が曖昧に使われているが、先ほど生涯学習・文化財保護課長が説明したように、生涯学習という生涯にわたって学んでいく中には、学校教育、社会教育、家庭教育や個別の教育があると認識している。その中で、生涯学習推進計画の策定作業を進めていく中で、委員の皆さんのご意見を取り入れながら形成されてきた。現在、生涯学習センターは何をす

るのか、公民館は何をするのかという役割分担をはっきりさせることを指示しているところで、この点を押さえないと進むものも進んでいかないと考えている。

社会教育法に定める公民館は、部局としては地域づくり部となり所管は市長部局に変わったが、各公民館における社会教育活動は教育委員会に残っており、公民館の職員は教育委員会の併任職員である。

大まかではあるが、生涯学習センターは市全体を見越したうえで、いろいろな学習の指導者を育成するなどの大きな役割を果たし、各公民館においては、小山地区や乾側地区の踊りやさまざまな文化財の保存といった、地域に根差した文化芸術などは各公民館でしっかり継承していく必要があると教育委員会内部では認識している。

【教育長】 いただいたご意見はしっかりと反映し、整理させていただく。

続いて、大野市文化財保存活用地域計画策定の進捗状況について、事務局の説明をお願いします。

——〈生涯学習・文化財保護課長説明〉——

【教育長】 ご意見、ご質問等があればお願いします。

——〈意見・質問なし〉——

【教育長】 今後、第7回の会議が開催され、その場において大方の計画案がまとまってくることとなる。

続いて、10月の業務報告について、ご意見、ご質問等があればお願いします。

——〈意見・質問なし〉——

【教育長】 10月の業務報告については、以上とする。

その他について、事務局から何かあればお願いします。

【学校教育審議監】 お手元に配布のチラシは、下庄小学校の公開授業の実施、福井県へき地複式研究大会において阪谷小学校・小山小学校が公開授業を行い、和泉小学校が資料発表する大会をお知らせするものである。委員各位の出席や参加をお願いしますものではない。

【こども支援課長】 11月は児童虐待防止月間となっており、11月11日に児童虐待防止の街頭啓発を実施する。また、11月12日から25日まで「女性に対する暴力をなくす運動期間」となっており、11日に同時に啓発活動を予定している。

本日、委員各位に女性に対する暴力根絶のシンボルマークである「パープルリボン」をお渡しするので、活用していただきたい。

【教育長】 事務局からは以上となる。委員からのご意見、ご質問等があればお願いします。

【羽生委員】 議案第64号の令和3年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書案を拝見した感想である。私たちがこの1年関わってきた学校再編について、達成度が二重丸で評価もAとして高評価であるが、私自身はこの評価はあくまでも通過点として真摯に受け止めたい。

先日の検討委員会で、小学校の再編についてはスピード感を持って再編を進

めることはできないかなど、意見が多岐に渡って出ていた。この報告書にあるように、引き続き、児童保護者や地区住民、未就学児の保護者と再編案までの約5年足らずの間において、丁寧に進めていくことが大事であり、これからが正念場であるということ、検討委員会での意見を拝聴し、気持ちを新たにしたいところである。

また、先ほどの生涯学習推進計画の策定状況についてであるが、私の中でもこのとらえ方が非常に難しいと感じている。私自身もいろいろな団体・組織に所属しているが、会員や部員数は激減の一途をたどっている。昨年度の教育委員の公民館訪問の際に、地域を構成している団体の中には、以前はあった「愛育会」や「ふわわの会」などの団体がほとんどない状況であった。

地域を支えてくれていた、そのような団体・組織がない中で、公民館を軸に何かをしようとしたときに、どのようなアプローチでどのように行えば地域の方がついてきてくれるのだろうか、と日々、私も所属する団体の中でも考えている。そこに追い打ちをかけるようにコロナ禍があり、本来であれば地域の祭りやいろいろな伝統芸能を一体感を持って行っていたことも、遠ざかってしまった。この一体感の熱が冷えて停滞している状態の皆さんの気持ちや時間を、人づくりや繋がりづくり、場づくりのアプローチとしてどのように持つてくのかということは、想像以上に難しいことではないかと思う。

先ほどの事務局長の発言に「生涯学習とは何か」「生涯学習センターや公民館の役割は何であるのか」という点は、私も知りたいところであり、そこを明確にしたうえで、今の温度差のある地域の方たちの気持ちをどのように結び付けていけば良いかということ、今後の検討の中で進めていって欲しい。

【教育長】羽生委員のご意見は委員全員が同じ気持ちであると考えている。学校再編についても、保護者や地域住民、そして子どもたちの意見が反映できるような組織体を作って、しっかりと動いて進めていきたい。

生涯学習のことについても、このような時だからこそ、生涯学習推進計画を策定するという通して、もう一度、生涯学習についてしっかりと見つめ直すことができると良いと考える。そのような面から、計画の策定は良いタイミングであると思っている。今後も協力をお願いします。

【閉会】

【教育長】 これをもって、大野市教育委員会10月定例会を閉会する。

午後3時52分終了

令和3年11月24日

(馬道委員)

(松谷委員)